

吾峰 新潟

令和8年2月20日

教え子たちとの有意義な時間

副支部長 桐生 春江（52年卒）

昨年度で通年の非常勤講師の仕事（県立高等学校に配置の「いじめ対策推進教員」の後補充）が終了し、今年度は5日間の初任研の後補充だけとなった。

定年退職してからの10年間、再任用や非常勤講師として子どもたちとかかわってきた。福大での学びを活かせる保健体育の教師という仕事に就いて約50年、最後まで勤められたことは本当に幸せなことだと感謝している。と同時に、女である私が大学に行くことに大反対だった大工の父が現場で働いていた歳まで私も働けたことを、今は報告することができなくなってしまったが、きっと喜んでくれていると思っている。

12月中旬に、かつて私が勤務した中学校のバレーボール部の生徒4人が我が家に遊びに来た。聞けば53歳になるという。仕事のこと、家庭のこと、健康のこと、そして当時の中学校の仲間やバレー部でのこと……。話は尽きない。11時に来て、気付けば午後5時を回っていた。これから帰って家族の夕食を作るといふ。まだまだ忙しそう。今回仕事で来られなかった友人も一緒にまた遊びに来ることを約束して帰っていた。

また秋には、新卒で赴任した当時の山北町の30人足らずの僻地校で担当した生徒とも久々に再会した。彼には砲丸投げを指導した。努力家で、小柄ながらひたむきな取組で見事県大会に出場した。現在は京都で焼肉屋をやっており、私の還暦を牛肉で祝ってくれた。そんな彼も還暦を過ぎている。

今通院している歯医者も教え子。転居により歯医者難民になった私に、同窓会の折「俺が最後まで面倒見ますよ」と言ってくれ、結構悩んだ末、恥ずかしながら通院している。

教え子たちの成長や頑張りを見聞きしたり、遊びに来てくれたりすることは、この仕事を選んだ私にとって何よりの喜びだ。

新しい年2026年の干支は「午」。日本には、現在宮崎県の天然記念物の「御崎馬（みさきうま）」を始め、8種の在来馬がいるそう。かつて畑を耕したり荷物を運んだりしていた働き者たちの末裔。干支が6回巡り私は春には72歳となる。今まで結構駆け抜けてきたので、これからは「幸齢者（こうれいしゃ）」を目指し、在来馬の如く少しゆったりと暮らしたいものだと思う。

新たな年が心穏やかな一年になりますように。会員の皆様が健やかに過ごせますようにお祈り申し上げます。

同窓吾峰会郡山大会に参加してきました

副支部長 山本 武 (51 年卒)

10 月 11 日（土）の吾峰会郡山大会に、昨年のいわき大会に続き今年も参加することができました。

当日朝の出発で受付時刻に間に合うのですが、「前日から行きなさい。磐梯熱海温泉に宿を予約したから、“会津ころり三観音”の下見をしてきなさい」と指示を受けて（元気で留守が良いようです）、今年も前日から出かけました。三観音は、鳥追観音（如法寺）、中田観音（弘安寺）、立木観音（恵隆寺）の順に回りました。「ころり」は突然死のことではなく、「天寿を全うした安らかな成仏」ということでした。

インターネットで調べた不動滝（大峯不動滝）も見たいと思って、ホテルで場所を尋ねたのですが、あまり知られていないようで、何人かの方に迷惑をかけることになりました。教えてもらって出かけようとした時にはクマよけの鈴を預けられました。不安な気持ちにもなったのですが、近くまで車で行くことができ、写真を撮ることができました。



翌日は、玉川村の「日本の滝 100 選」に選ばれている「乙字ヶ滝」（駐車場近くでした）の写真を撮りました。その後友人が予約してくれたホテルに向かい、2 人で会場に入りました。

大会では、感謝状贈呈式、開会行事、講演、懇親会と続きました。開会行事の中で、野崎新会長、牧田福島大学人間発達文化学類長の挨拶、祝辞の中で、学部の名称が教育学部になることの話がありました。半世紀も前に教育学部を卒業したのですが、何となくうれしい気持ちで聞いていました。

講演の講師は、郡山市ふれあい科学館の安藤主任学芸員さんでした。「プラネタリウム百周年・宇宙への誘い」と題して、「地球人から宇宙人へ」「宇宙を見て私たちを考えよう」「自然環境を守るために走り続ける」といった話もありました。世界各地で戦争が起こり、多くの犠牲者が出ています。また、地球環境の変化で起こっている酷暑や豪雨が日常になり、被害者も増えています。講演を聞きながら、地球ファースト、宇宙ファーストといったことを考えていました。

4 年ぶりという懇親会では、多くの方に挨拶できました。「再会を喜び、親交と絆を深めよう」の大会スローガンどおりの素敵な会でした。

大会の後は、（偉そうにも）先輩から迎えにきてもらい、同期や先輩との懇親会の会場に向かいました。仙台、福島から駆けつけた同い年のお姉さんたちも交えて、現況や昔話に花を咲かせました。

翌日は、研究室で指導していただいた千葉先生のお宅に伺い、お元気な先生と今年も昔話をすることができました。

来年は会津大会です。



集い、語いました 支部交流会

令和7年9月6日(土) アートホテル新潟駅前

○ 賀寿のお祝い 宮川 サト子 様 (28年卒)



「賀寿(がじゅ)のお祝い」とは、還暦(60歳)から100歳(百寿)までの長寿を祝うお祝いの総称で、節目ごとに「古希」「喜寿」「米寿」などがあります。宮川さんがお迎えになった95歳は、「珍寿」というのだそうです。矍鑠(かくしゃく)としたそのお姿と話しぶりはさすがの一言でした。先輩の長寿と健康を願い、みんなで感謝と敬意を伝え、お祝いしました。

○ 話を聞こう 篠田 邦彦 様 (50年卒) 新潟大学名誉教授 博士(医学)

毎年、福大の卒業生からお話をうかがっています。昭和50年教育学部(特体)を卒業された篠田さんは、全国で健康づくりや体力向上、体育指導者の養成に尽力されています。健康に足腰を鍛えるには、歩隔(左右のかかとの間隔)をとって歩くこと、フレイルを予防するには、3つの8(8時間睡眠、腹8分目、8時以降食べない)を守ることだそうです。



○ 会議・懇親会 ～本部や支部の事業を知り、旧交を温めました～



支部の組織と活動が決まり、動き出しました。会員あつての支部です。親睦と交流が目的の会なので誰でも気軽に参加できるのがよいところ。ぜひ、右を予定に入れておいてください。

令和8年度福島大学同窓吾峰会
新潟支部 交流会の予定
期日：令和8年9月5日(土)
会場：アートホテル新潟駅前



会員の広場

近況、趣味、雑感、etc.皆さんから寄せられた原稿やメッセージを紹介します。

赤十字の視察研修にて

池田 秀範 (51 年卒)

8月に赤十字の視察研修で、高校生・大学生を引率し福島県に行きました。双葉町や浪江町では、災害の恐ろしさや復興の難しさを改めて感じさせられました。翌日、福島市内で高校生の青少年赤十字トレーニングセンターに参加。福島の子どもたちが防災・減災について真剣に学ぶ姿に感心しました。新潟県の生徒・学生とも協議する機会を設けていただき、とても有意義な時間を過ごせました。今でこそ赤十字に関わっている私ですが、大学時代は如月寮の近くに赤十字病院があったのを思い出すのみ。全く赤十字に関心がなく過ごしていた自分と比べ、高校生・大学生の立派さに頭が下がる思いでした。

ご案内ありがとうございます。

95歳、元気。足腰は大変でも口は達者。毎日予定を立てても中途半端。気ままな生活もまた楽しいです。

玄関前のプランターに野菜を作りました。なんとオサル様がお出でになりごあいさつ…。

いかに多様化の時代とは言え、人間であることを忘れずに、私なりにいろいろと工夫しながら…。

むずかしい時代になりました。平和な日々が長く続くことを願いつつ、わが吾峰会のますますの発展を心よりお祈りいたします。

<宮川サト子 28年卒>

福大の同級生とつながっています。

夏には“暁”が届き、

「おいしい〜！さすが福島の桃！」

「だべしたー！今年は暑かったから甘さが格別！」

秋には我が家のコシヒカリを送り、

「新潟のコシヒカリは、やっぱ最高よ！！」

「ありがと。あちこち宣伝してねー」

「そだねー。」

TOKIOの解散にショックを受け…、

お互い膝が痛いのを慰め合い…、

福島とのつながりは消えません。

<持田 協子 56年卒>

西蒲区役所の健康福祉課での勤務を続けています。今年で4年目となります。様々な家庭環境の実態に直面しながらも、児童虐待防止に向けた取組を、微力ながらもこども家庭相談員として続けています。

<宮本 透 60年卒>



編集後記

同窓とお会いしたりお便りを読んだりすることで、年に数回心地よい「福大愛」を感じています。卒業して時間が経つとなおさらでしょうか。吾峰新潟がそのお役に立てれば幸いです。

次回も、たくさんの皆さんと旧交を温め合いたいものです。交流会へのご参加、寄稿を心よりお待ちしております。(S)

